

羽田空港新飛行経路に係る区民アンケートの実施について

南風時の午後3時から7時までの間に羽田空港に着陸する航空機が港区の上空を飛行する「羽田空港新飛行経路」について、国は、令和7年12月に開催した「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」での審議内容を掲載したリーフレットを、近日中に区内全戸に配布するとしています。こうした動きがある中、区は区民の声を広く聴取し、その結果を国に直接届けるため、区民アンケートを実施します。

1 対象者

区内全世帯（令和8年1月時点で約155,000世帯）

2 調査方法及び実施時期

3月下旬に世帯主宛てにアンケートを郵送し、インターネット（LoGoフォーム）又は郵送で回答いただきます。

3 送付物

（1）アンケート票

別紙1のとおり

（2）羽田空港新飛行経路の概要

別紙2のとおり

※レイアウトについては、今後変更の可能性があります。

4 今後のスケジュール（予定）

令和8年3月下旬 アンケート発送

5月 回答締め切り

6・7月 回答集計

7月 環境等対策特別委員会にてアンケート実施結果を報告

8月以降 アンケート実施結果を国に提出

羽田空港新飛行経路の概要

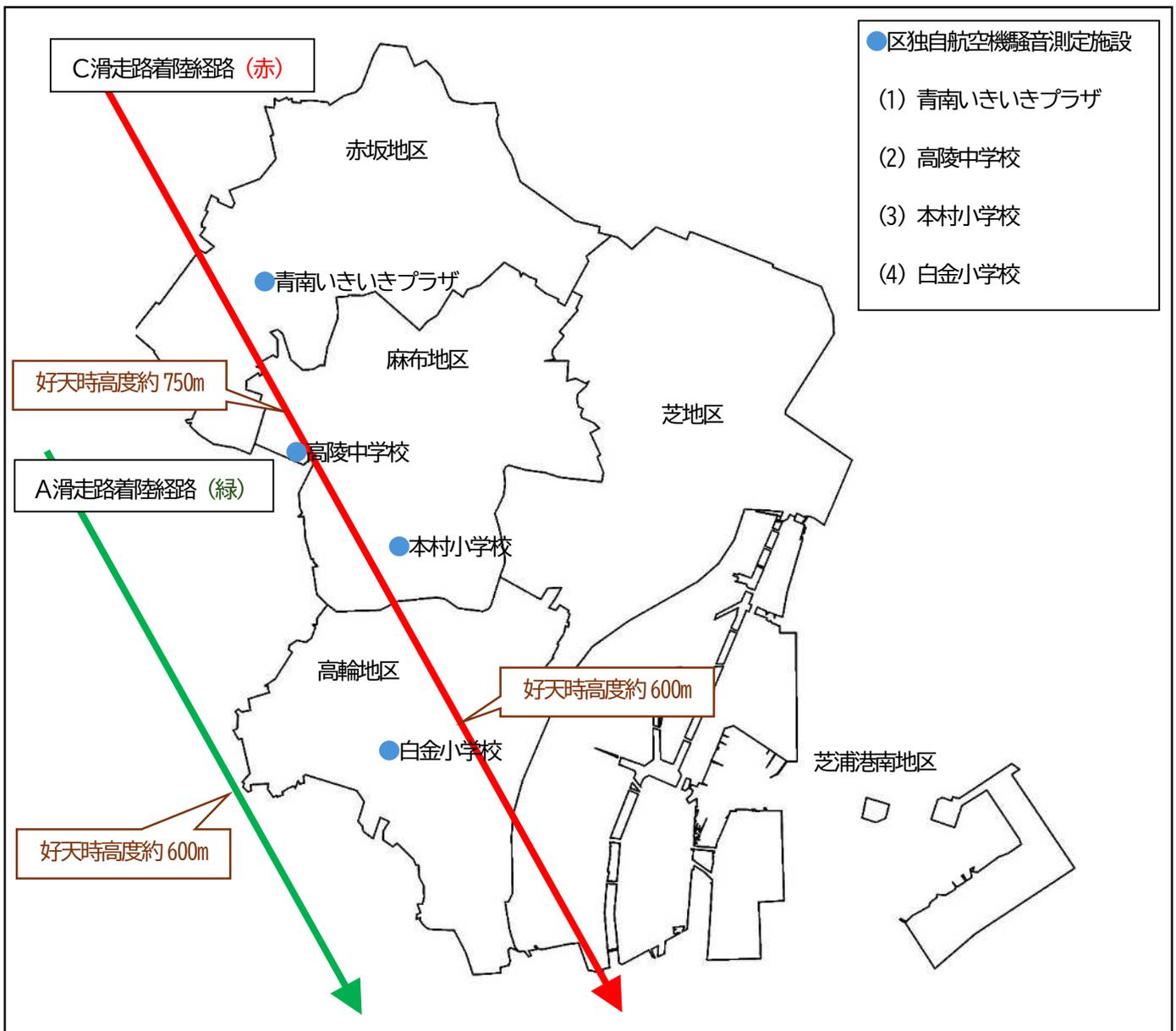
羽田空港新飛行経路とは

国は、「増え続ける国際線需要に対応し、東京の国際競争力を強化するため、羽田空港の発着容量を拡大すること」及び、「千葉県との航空機騒音負担の公平化、安全性の確保、運用の安定性」をめざし、羽田空港に着陸する航空機が港区上空を飛行する、羽田空港新飛行経路の運用を令和2年3月29日より開始しました。羽田空港新飛行経路を活用して羽田空港の離発着回数を年間50万回まで拡大することにより、国際線需要増加や訪日客拡大に対応し、国際競争力向上、日本経済の活性化、地域振興を図ることを目的としています。

羽田空港新飛行経路の運用について

運用時間 南風時の午後3時～午後7時までのうちの約3時間の中に、羽田空港のA滑走路又はC滑走路に着陸する航空機が使用

運用本数 上記時間において1時間あたりA滑走路（緑線）に約14便、C滑走路（赤線）に約30便



羽田空港新飛行経路に係る区取組

羽田空港新飛行経路の運用に伴い、区民の皆様からは落下物や騒音等に対する不安の声が寄せられています。区は区民の安全・安心と生活環境を守る立場から、国の責任において、区民の不安や疑問の払しょくに向けたきめ細かな情報提供や丁寧な説明を行うとともに、さらなる安全対策や騒音対策等に積極的に取り組むよう、国に対して求め続けています。

区の最近の要請行動

令和6年8月及び令和7年2月に、区長と区議会議長が国土交通省を訪れ、羽田空港新経路において騒音軽減等の観点から見直しが可能な方策について検討する、「羽田新経路の固定化回避に係る技術的方策検討会」及び住民説明会の早期開催を要請しました。

羽田空港新飛行経路下における区独自の騒音測定結果

区は独自に区内4施設で、羽田空港新飛行経路を使用する航空機の騒音を毎年測定しています。

令和7年度測定期間 7月1日～9月30日のうち、南風運用実施日（68日間）

測定施設	実測値 (dB (デシベル))					
	全体		C 滑走路着陸機		A 滑走路着陸機	
	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値
青南いきいきプラザ	78.3	68.9	78.3	68.9	70.4	61.6
高陵中学校	81.5	70.4	81.5	70.4	70.5	61.3
本村小学校	80.4	71.1	80.4	71.1	70.6	60.3
白金小学校	82.7	68.9	82.7	69.0	77.5	64.5

騒音の大きさの目安

80dB	・地下鉄の車内 ・ピアノの音
70dB	・掃除機 ・騒々しい街頭
60dB	・普通の会話 ・チャイム
50dB	・静かな事務所 ・エアコン室外機

羽田空港新飛行経路に関するお問い合わせ

電話でのお問い合わせ

受付時間：午前7時～午後8時（土・日曜、祝日含む）

電話：0570-001-596（ナビダイヤル）

電話：050-3655-5960

羽田空港のこれから（日本語）

HANEDA AIRPORT FOR TOMORROW (English)

<https://www.mlit.go.jp/ko/ku/haneda>

https://www.mlit.go.jp/koku/haneda/public/pdf/haneda_Pamphlet_english_vol2.pdf

区民アンケートに関するお問い合わせ

港区環境リサイクル支援部環境課環境指導アセスメント係

電話：03-3578-2490～2492（平日午前8時30分～午後5時15分）